



株主の皆様へ

第82期 中間報告書

(平成28年3月21日～平成28年9月20日)

石塚硝子株式会社

CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ 事業の概況	3
■ 業績推移（連結）・セグメントの業績	4
■ 財務諸表（連結）	6
■ トピックス	8
■ 会社概況	9



表紙の写真……IPT-プレジール
繊細なステム（脚）で高級感があり、フォーマルなシーンに映えるステムウェアラインです。飲み物を注いだ時の持ち心地を考慮し、重量バランスを追求しました。
「IPT-プレジール」シリーズは、2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

左記の写真……津軽びいどろ 氷華
親しい人と美味しい物を囲む機会が多い時期。
少し大きめの手に馴染むラフなテイストのグラスが、家でゆっくり楽しむ時間にちょうど良い。華やかな色合いの硝子テーブルのアクセントにオススメです。

株主の皆様へ



代表取締役社長
石塚 久継

代表取締役会長
石塚 芳三

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第82期中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆様の平素のご支援に対し、心より御礼申し上げます。

当社グループの第82期第2四半期（平成28年3月21日から平成28年9月20日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様には、今後とも相変わらぬご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

■社是・経営理念

■社是

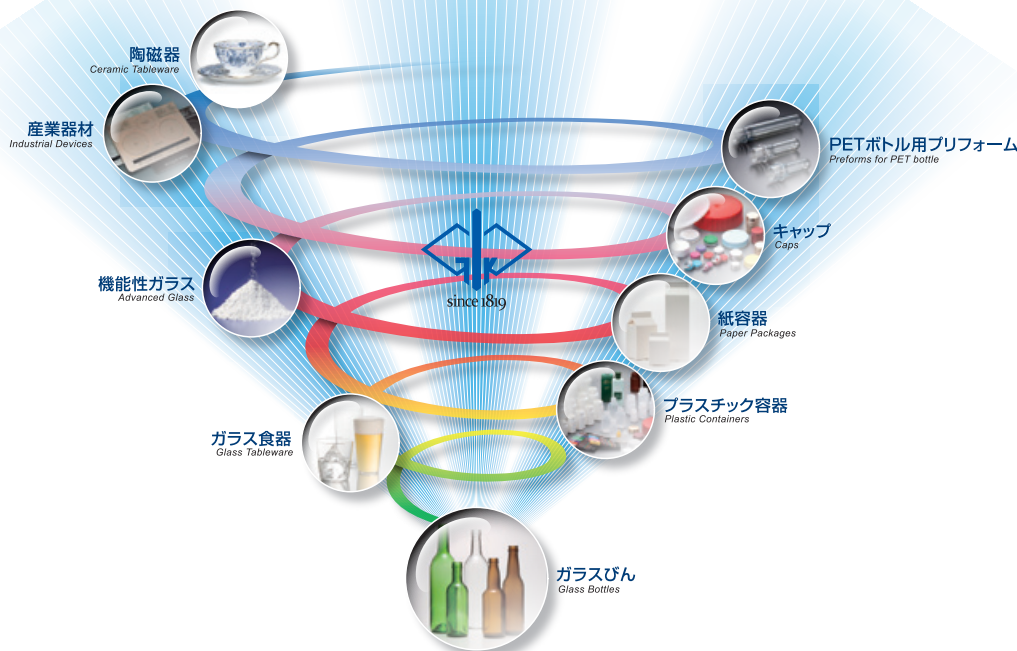
「誠実・努力・創造」

■経営理念

- (1) “信用第一” に心がけ、社内外の信頼を得る。
- (2) “企業は人なり” の理念で、人材の育成に努める。
- (3) “最高の品質” を求め、絶えず新技術を開発する。
- (4) “革新と創造” に満ちた永続的发展を続け、社会に貢献する。

ガラスを究め、ガラスを超える。

「ガラスを究め、ガラスを超える。」を経営ビジョンとして、
更なる新製品、新技術の開発に挑戦し、お客様にご満足を提供してまいります。



■事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場が円高に進行している影響を受けつつも、企業の設備投資は堅調に推移しました。一方、個人消費の回復には足踏みがみられ、新興国経済の下振れリスクや英国のEU離脱問題など、先行きにつきましては依然として不透明な状況が見込まれます。

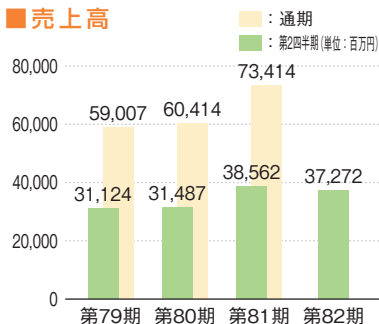
このような状況のなか、当社グループは、当期を初年度とする中期経営計画（第82期～第84期）『Next Stage ISHIZUKA 84』をスタートさせました。この中期経営計画は、「グループ総合力の結集」をコンセプトとし、営業利益の安定的確保・有利子負債の削減・グループを横断した機能強化に向け取り組んでおります。

売上高につきましては、PETボトル用プリフォームは、主要ユーザー向けの販売が好調であったことなどにより伸張しましたが、ガラスびん、ハウスウェア、紙容器及び産業器材は伸び悩み、売上高は37,272百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。利益につきましては、グループを挙げたコスト削減に加えて、LNG及び電力を中心としたエネルギー価格が低下し、営業利益は1,724百万円（前年同四半期比19.9%増）となりましたが、為替相場の変動に伴う外貨建資産・負債に関する為替差損の計上があり、経常利益は804百万円（前年同四半期比28.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は319百万円（前年同四半期比36.8%減）となりました。

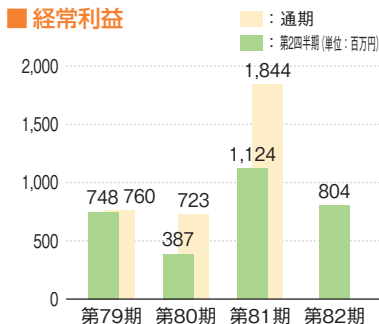
業績推移（連結）・セグメントの業績

■業績推移（連結）

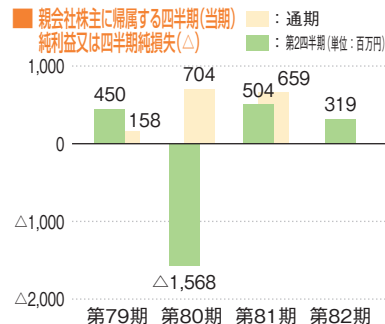
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)



■セグメントの業績

ガラスびん関連

ガラスびんは、飲料水びんの新製品が出荷を伸ばしましたが、昨年のテレビドラマ効果で好調だったウイスキーびんの出荷が大きく落ち込み、売上高は9,192百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。



清酒びん



ガラスウェア

ハウスウェア関連

ガラス食器は、前期に好調であった企業向け景品受注が減少したことにより売上高が減少しました。陶磁器は、国内事業は堅調でしたが、海外事業のホテル・レストラン及びエアライン向けの受注が減少したことにより売上高が減少し、セグメント全体の売上高は7,562百万円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

紙容器関連

紙容器は、市場の全体的な需要低迷により出荷数量が伸び悩むなか、前期にあった小型カートン用充填機の販売もなかったことにより、売上高は4,083百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。



各種紙容器



プリフォーム

プラスチック容器関連

プラスチック容器は、新規受注の獲得などにより主要ユーザー向けの販売が好調であったことに加え、前期に立ち上げた新ラインが年初からフル稼働し需要の増加に対応できたことにより、売上高は13,746百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

産業器材関連

産業器材は、IHクッキングヒーター向けトッププレート及びヒーター用工業材料の受注が減少したことにより、売上高は927百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。



ガラストッププレート



抗菌剤

その他

抗菌剤は、欧州をはじめとする海外での販売が順調に拡大していますが、昨年の一部地域での採用拡大に伴う大口受注の反動もあり、売上高は減少しました。一方、金属キャップなどは出荷を伸ばし、売上高は1,759百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

財務諸表（連結）

■四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成28年9月20日	前期末 平成28年3月20日	科 目	当第2四半期 平成28年9月20日	前期末 平成28年3月20日
資産の部			負債の部		
流動資産	37,199	36,354	流動負債	29,885	29,785
現金及び預金	5,546	3,923	支払手形及び買掛金	7,446	6,522
受取手形及び売掛金	12,588	12,552	短期借入金	13,726	14,770
有価証券	－	100	1年内償還予定の社債	1,279	933
商品及び製品	12,118	12,419	未払法人税等	353	705
仕掛品	843	948	賞与引当金	724	722
原材料及び貯蔵品	4,517	4,854	関係会社整理損失引当金	23	27
その他	1,586	1,560	その他の	6,330	6,104
貸倒引当金	△ 1	△ 4	固定負債	30,589	29,802
固定資産	44,890	44,083	社債	2,862	2,752
有形固定資産	36,578	36,333	長期借入金	13,803	13,347
建物及び構築物（純額）	7,778	8,026	役員退職慰労引当金	64	62
機械装置及び運搬具（純額）	7,611	7,661	汚染負荷量引当金	412	428
土地	15,784	15,784	厚生年金基金解散損失引当金	8	8
その他（純額）	5,404	4,861	退職給付に係る負債	6,125	6,190
無形固定資産	309	350	その他の	7,311	7,012
投資その他の資産	8,002	7,400	負債合計	60,474	59,588
投資有価証券	6,648	6,343	純資産の部		
その他	1,384	1,079	株主資本	12,128	11,915
貸倒引当金	△ 30	△ 22	資本金	5,911	5,911
繰延資産	78	66	資本剰余金	4,149	4,149
資産合計	82,168	80,504	利益剰余金	2,356	2,142
			自己株式	△ 288	△ 287
			その他の包括利益累計額	6,916	6,380
			その他有価証券評価差額金	2,175	2,086
			繰延ヘッジ損益	△ 137	△ 111
			土地再評価差額金	5,338	5,201
			為替換算調整勘定	332	62
			退職給付に係る調整累計額	△ 792	△ 859
			非支配株主持分	2,648	2,620
			純資産合計	21,693	20,916
			負債純資産合計	82,168	80,504

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

財務諸表（連結）

■四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 平成28年3月21日から 平成28年9月20日まで	前第2四半期 平成27年3月21日から 平成27年9月20日まで
売 上 高	37,272	38,562
売 上 原 価	29,562	31,103
売 上 総 利 益	7,710	7,458
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,986	6,020
営 業 利 益	1,724	1,438
営 業 外 収 益	237	186
営 業 外 費 用	1,157	500
経 常 利 益	804	1,124
特 別 損 失	41	25
税金等調整前四半期純利益	762	1,098
法人税、住民税及び事業税	312	283
法 人 税 等 調 整 額	40	220
四 半 期 純 利 益	409	594
非支配株主に帰属する四半期純利益	90	89
親会社株主に帰属する四半期純利益	319	504

（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

■四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 平成28年3月21日から 平成28年9月20日まで	前第2四半期 平成27年3月21日から 平成27年9月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,182	526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,883	636
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 439	△ 1,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 236	12
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,623	△ 119
現金及び現金同等物の期首残高	3,923	3,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,546	3,384

（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

■新製品情報

■ グラスドームクッカー

ご家庭のキッチンやベランダ、お庭で簡単にスモーク料理が楽しめます

優れた耐熱性と独特の素材感が魅力の日本製耐熱陶器「萬古焼」と、日本製ハンドメイド耐熱ガラスを組み合わせたGLASS DOME COOKER登場。

お試し用のスモークチップ付きで、自宅のキッチンで燻製料理を手軽にお楽しみいただけます。

また土鍋なので調理の幅が広く、各種鍋料理はもちろんご飯も炊けるのも魅力です。



■ シルキーホワイト

2017年で発売40周年を迎える『シルキーホワイト』シリーズは、ロングライフデザイン賞も受賞しており、多くの方々に長く愛されているテーブルウェアです。野に咲く小花の優美な曲線をイメージしたレリーフと優しく手に馴染むかたち、ボーンチャイナの滑らかな上質感がお料理を美しく引き立てます。この秋から40周年プレ企画のギフトセットを発売中。40周年となる2017年春には、現代の食生活により一層マッチした、『シルキーホワイト』の新シリーズの発売を予定しています。

*当製品は、鳴海製陶株式会社の製品です。
インターネット通販「e-NARUMI」からご購入できます。
<http://www.e-narumi.com/>



会社概況（平成28年9月20日現在）

■会社の概要

商 号	石塚硝子株式会社
本 社 所 在 地	〒482-8510 愛知県岩倉市川井町1880番地 TEL：0587-37-2111（代表）
設 立	昭和16年4月16日
株 式 上 場	東証、名証1部
従 業 員 数	793名
資 本 金	59億11百万円
事 業 内 容	ガラスびん・ガラス食器・紙容器・プラスチック容器・セラミックス製品の製造販売。

■役 員

代表取締役会長	石 塚 芳 三	
代表取締役社長	石 塚 久 継	
取締役相談役	山 中 昭 廣	
取締役兼執行役員	大 橋 茂 夫	（技術本部兼アドバンストガラスカンパニー社長）
取締役兼執行役員	畔 柳 博 史	（管理本部兼経営企画部長兼内部統制担当）
取 締 役	後 藤 武 夫	
常 勤 監 査 役	加 藤 明 茂	
監 査 役	加 藤 尚 悟	
監 査 役	小 栗 悟 修	（ハウスウェアカンパニー社長）
執 行 役 員	杉 浦 晃 透	（アデリア株式会社社長）
執 行 役 員	町 野 聡	（管理本部財務部長）
執 行 役 員	北 山 隆 弘	（日本バリソン株式会社社長）
執 行 役 員	森 村 亮 一	（ペーパーパッケージカンパニー社長）
執 行 役 員	田 村 尚 己	（プラスチックカンパニー社長）
執 行 役 員	下 宮 美 樹	（ペーパーパッケージカンパニー生産本部長）
執 行 役 員	松 田 美 希	（ガラスびんカンパニー社長）

（注） 1. 取締役後藤武夫氏は、社外取締役であります。
2. 監査役加藤尚、小栗悟の両氏は社外監査役であります。

■事業所

本社・岩倉工場	〒482-8510	愛知県岩倉市川井町1880番地
東 京 支 店	〒103-0004	東京都中央区東日本橋二丁目1番5号 石塚ビル内
大 阪 支 店	＜ガラスびんカンパニー／ペーパーパッケージカンパニー＞ 〒532-0003 大阪市淀川区宮原三丁目3番34号 新大阪DOIビル ＜ハウスウェアカンパニー＞ 〒551-0031 大阪市大正区泉尾五丁目13番11号	
名 古 屋 支 店	〒482-8510	愛知県岩倉市川井町1880番地
九 州 支 店	〒812-0853	福岡市博多区東平尾一丁目17番12号
東 京 工 場	〒306-0432	茨城県猿島郡境町大字下小橋880番地
姫 路 工 場	〒672-8079	兵庫県姫路市飾磨区今在家1351番地の1
福 崎 工 場	〒679-2215	兵庫県神崎郡福崎町西治498番地
町屋テクニカルセンター	〒116-0002	東京都荒川区荒川七丁目4番3号

■石塚硝子グループ

【製造会社】 日本バリソン株式会社 PETボトル用 ブリフォームの製造・販売	三重ナルミ株式会社 陶磁器の製造
ウイストン株式会社 プラスチック製容器及び 中栓類等の製造・販売	PT. NARUMI INDONESIA 陶磁器の製造
久金属工業株式会社 各種金属キャップの製造・販売	【販売会社他】 アデリア株式会社 ガラス食器販売
北洋硝子株式会社 ガラス食器製造	NARUMI SINGAPORE PTE LTD 陶磁器の販売
石塚マシントクノ株式会社 ガラス成形機及び省人化機械の 設計・製作	鳴海（上海）商貿有限公司 陶磁器の販売
鳴海製陶株式会社 陶磁器・産業器材の製造・販売	石塚物流サービス株式会社 ガラス製品、プラスチック製品の 検査・包装作業
	石硝運輸株式会社 貨物運送取扱い

■株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式の総数	36,295,543株
単元株式数	1,000株
株主数	3,576名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
明治安田生命保険相互会社	2,195	6.26
株式会社みずほ銀行	1,737	4.96
第一生命保険株式会社	1,500	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,318	3.76
旭硝子株式会社	1,210	3.45
愛知時計電機株式会社	962	2.74
石塚芳三	936	2.67
株式会社三井住友銀行	870	2.48
御幸毛織株式会社	700	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	691	1.97

(注) 当社は、自己株式1,283千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■株主メモ

事業年度	毎年3月21日～翌年3月20日
剰余金の配当基準日	3月20日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告（ http://www.ishizuka.co.jp ） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットアース（みずほ銀行内の 店舗）でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱い できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



石塚硝子株式会社
ISHIZUKA GLASS Co.,Ltd.

インターネット通販「ガラス shop ISHIZUKA」
からご購入できます。
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/shopishizuka/>

取り扱い店舗については下記までお問い合わせください。
お客様相談室 0587-37-2024



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、
森を元気にするための間伐と間伐
材の有効活用に役立ちます。



ホームページのご案内

URL <http://www.ishizuka.co.jp>